

一 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

練習も暑くて大変ねと言いかけて百合子は黙った。

「……」

克久も何か言いかけたのだが、目をぱちくりさせて、口へトンカツを放り込んでしまった。

「あのね、仕事の帰りに駅のホームからうちの方を見たら、夕陽が斜めに射して、きれいだった」

「そう。……」

なんだか、ぎこちない。克久も何か言おうとするのだが、大会に関係のない話というのは探しても見つからない。A、その話はしたくなかった。この平穏な気持ちを大事に、そと、明日の朝までしまっておきたかった。

初めて会った恋人同士のような変な緊張感。それにしては、百合子も克久もお互いを知り過ぎていた。百合子は「こいつは生まれる前から知っているのに」とおかしくて仕方がなかった。

「……」

改めて話そうとすると、息子と話せる雑談って、あまり無いものだなと百合子は妙に感心した。

「……」

克久は克久で、何を言っても、話題が音楽か大会の方向にそれていきそうで閉口だった。

「これ、うまいね」

こういうことを言う時の調子は夫の久夫が百合子の機嫌を取るの

に似ていた。ぼそつと言ってから、少し遅れてにやりとワラうのだ。

「西瓜でも切ろうか」

久夫に似てきたが、よく知っている克久とは別の少年がそこにいるような気もした。

「……」

西瓜と言われれば、すぐ、うれしそうにする小さな克久はもうそこにいない。

「……」

百合子は西瓜のことを聞こうとして、ちよつとだけ息子に遠慮した。彼は何かを考えていて、ただぼんやりとしていたわけではない。少年の中に育ったプライドはこんなふうには、ある日、女親の目の前に表れるのだった。

「西瓜。少しだけ食おうかな。腹こわすとまずいから」

「お腹の調子、悪いの？」

「そうじゃないけど」

彼は最初十六分の一だけ西瓜を食べた。B 十六分の一では満足がでずに、もう十六分の一の西瓜を食べて、「さて、寝るか」と言った時、玄関のチャイムが鳴った。

「はて、こんな時間に誰だろう」

二人は顔を見合わせた。時計を見れば、九時を少し回ったところで、C 来訪者のある時間でもないし、新聞屋の集金にしても

夜遅すぎた。

「こんばんは。カッちゃんいる」

鍵の開いていた玄関扉を開けて、でかい声を出しているのは魚勝さんだ。

「カッちゃん、明日、大会なんだってね。うちのカツがそう言ってたからサ」

声がかいだけじゃない。威勢もまことによろしい。克久の顔と言ったら、なかった。ただ、ただ、ア然としている。あまりにも突然の魚勝さんの登場で、デリカシーだのなんだの御託を並べる暇もなかった。

「なんでも、花の木中は県大突破は当たり前なんだって。関東も敵じゃないなんて、うちのカツも言うんだけど。明日、届けようと思っていたタイだけど、明日は市場は休みだし、県大突破は当たり前。このこんちきなら今日でもいいかと思つてサ」

百合子も克久もびっくりしているうちに、タイを持った魚勝さんが喋りながら居間に現れた。

実に立派なタイだった。何より、色が美しい桜色をしていた。真夏にこんな色のきれいなタイには滅多に出会えるものではなかった。魚勝さんがテーブルの上に置いたカゴの中で、タイの目が光った。

「これが、おめでたいって言うんだ」

「タイですね」

克久がカゴの中をのぞき込む。

「明日サ、お祝いにと思つていたんだけど、カッちゃん、初出陣じゃん。地区はシードで予行演習だけど県大は違うもんね。なにしろ、初出陣だから」

「初出陣」

先刻までの真面目に澄まし込んだ克久はどこにいったのか、彼はタイと魚勝さんの顔を見比べては、「なんか、違うんだけど、ま、いいか」という顔をした。

「すごいタイね。お刺身にできそう。こんなのもらっちゃうわけにいかないわ」

百合子には克久の驚きようがおかしくて仕方がない。

「なんか、スポーツの大会に行くみたいですね。初出陣なんて言われると」

克久が声のトーンを少し落として大人っぽい受け答えをした。

〔楽隊のうさぎ〕中沢けい

問1 百合子と克久の関係はどのようなものですか。次から選びなさい。

ア 恋人同士 イ 親子 ウ 夫婦 エ 姉弟

問2 線①「そう。……」はだれの言葉ですか。文中から書きぬきなさい。

問3 線②「変な緊張感」とありますが、二人のどのような様子を表していますか。文中から五字で書きぬきなさい。

問4 A・B・Cに入る語の組み合わせとして正しいものを、次から選びなさい。

ア A それでも B めったに C さすがに
イ A めったに B さすがに C それでも
ウ A さすがに B それでも C めったに
エ A それでも B さすがに C めったに

問5 線③「改めて話そうとする」とありますが、どのような話をしようと考えていますか。次から選びなさい。

ア 大会の話 イ 練習の話
ウ 大会以外の話 エ 生まれる前の話

問10 線⑧「ア然としている」とありますが、なぜですか。三十字程度で答えなさい。

問11 線⑨「よう」と同じ働きをするものを、次から選びなさい。

ア 晴れようが晴れまいが、グラウンドに集まろう。
イ よう、しばらくぶりに会ったけれど、元気かい。
ウ みんな知っていたようだが、僕は後から聞かされた。
エ 食べようとしたけれど、お腹がいっぱいだった。

問12 線⑩「今日でもいいか」とありますが、何が今日でもいいのですか。文中から書きぬきなさい。

問13 線⑪「なんか、違うんだけど、ま、いいか」の心情としてあてはまらないものを、次から選びなさい。

ア 大会前の緊張を大切にしてもらいたかったが、応援してもらっているので悪い気はしていない
イ タイも魚勝さんもこの場には似合わないが、家にあがりこんでしまったのでへそを曲げている
ウ 県大会を前にお祝いをされてしまうのは違う気がするが、魚勝さんの気持ちをうれしく感じている
エ 初出陣と言われると、スポーツの大会へ行くように聞こえて自分のイメージと違うが、それほどこだわらない

問6 線④「妙に感心した」について、百合子の気持ちとして正しいものを、次から選びなさい。

ア ふだんから話すのに、まだ話したいと思う自分へのうれしさ
イ 長く一緒にいるのに共通の話題がないことへの驚き
ウ 音楽と大会の話題しか思いつかない自分へのいらだち
エ しゃべらない克久に見られる大人っぽい態度への喜び

問7 線⑤「閉口」の意味を、次から選びなさい。

ア 困って、ものを言わないこと
イ 考えがまとまらないこと
ウ つかれすぎて、おとろえること
エ おそろしく感じて、だまること

問8 線⑥「よく知っている克久」とは、どのような克久ですか。文中から書きぬきなさい。

問9 線⑦「何かを考えていて」とありますが、克久はどのようなに考えていたのですか。次から選びなさい。

ア 大会のために自分の体に必要なものを考えなければならぬ
イ そろそろ魚勝さんが来るころだから、お腹はすかせておこう
ウ 百合子とはこれ以上話をしていても気が散るだけだ
エ 好きな西瓜だから、明日の大会前にぜひ食べたい

問14 本文の内容と合うものを、次から選びなさい。

ア 克久は大会を前に自分の気持ちを大切にしようとしている
イ 百合子は体調が悪い克久を心配して西瓜を小さく切った
ウ 魚勝さんが新聞の集金のついでにタイを届けてくれた
エ 克久はデリカシーのない魚勝さんの態度に腹を立てている

問15 線⑦「ワラ」を漢字に直し、④「居間」の読みをひらがなで書きなさい。

二 次 の 文 章 を 読 ん で 、 後 の 問 に 答 え な さ い 。

マハレの森の中では、チンパンジーが地面に下りて昼寝^{ひるね}をしているそばで、わたしたちもときどき昼寝をした。

チンパンジーの大きな黒い手が、近くの地面に投げ出されている。人間にくらべると指の太さは二倍もありそうなほど太く、しかも長い。それにくらべると、親指はずいぶん短い。

チンパンジーは足にくらべると手が長くて、その長い手をいつぱいに伸ばして枝先の果実をとる。指が長いのはそのためだ^②とよくわかる。しかし、なぜ親指がこうまで短いのだろう？

森の中でチンパンジーを見ていると、おどろきの連続で、疑問は次々に起きる。

④ 木登りが下手なチンパンジーがいるのには、まったくおどろいた。

⑦ ある日、ミキの直径が四十センチもある大きな木のでっぺんで、三、四頭のチンパンジーが果実を食べていた。

「カリソヨっていうマンガスチンの仲間や。うまいで。」

と、西田先生はいう。

マンガスチンは「果実の女王」とよばれるほどだから、その仲間ならほんとうにうまいのだろう。チンパンジーたちはA食^③べている。

その果実を食べようと、子どもをかかえたメスが登ろうとしていた。しかし、十五メートルも登らないと枝がない。そのチンパンジーは途中まで登ったけれど、とうとうすべり落ちてしまった。

わたしはびっくりした。チンパンジーはれっきとした樹上性のサルのはずだ。

西田先生は今朝もそういった。

「な、見てみい、あのオス。足を広げて地面にすわって、Xしているように見えるけど、ほんとうはそうやない。むこうのオスを気にしているんや。だから、むこうのオスに見えないように、後ろに手をまわしてツルをにぎっているやろ。チンパンジーは樹上性だから、にげるときは木の上や。」

ほんとうにXしているオスは、木のツルなんかにぎらずに地面にすわっているからすぐわかると、先生はいった。それなのに、木に登れないチンパンジーがいる。どういふことなんだろう？ 疑問は次々にわくが、西田先生はすでにやぶの中にまっすぐ歩きだしている。チンパンジーの先まわりをしているのだった。あわてて追いかける。

チンパンジーの食べ物の中でもとくに重要なのは、半年間も実るイロンボの果実だった。それはオレンジほどもある大きな果実で、固いからの中に、あまずっぱい果肉に包まれた種子がいつぱいつまっていた。イロンボのツルは直径三センチもある。

⑧ 「イロンボがしげって木を枯らすと、木ごとたおれて道をふさいで大変や。そのツル切りだけで、毎年そうとうな人件費がかかる。」

と、先生はなげいた。

イロンボはここマハレ山地ではそれほどにもしげるツルで、それ

ほど大きくなるツルだった。その果実がチンパンジーの主食だった。

⑨ わたしの空想の世界で、人間のいないマハレの森がYえが^④かれた。

そこは湖岸に面した高い山と深い谷に広がる森で、その森のあちこちをイロンボの太いツルがおおっていた。森の中の一かかえも二かかえもあるような大木にも、さまざまなツルが縦横に橋を渡していて、チンパンジーたちはこのツルの網^{あみ}の中を自由に移動していた。

ヒョウがすみ、猛毒^{もうどく}のコブラが何種類もいたけれど、このツルのネットワークの上は安全だった。ツルが枯らした木がたおれて地面をふさいで通れないうえに、岩ばかりの森の中にやってくる人間もいなかったから、ここはチンパンジーの楽園だった。チンパンジーたちはツルに指をひっかけてZ移動し、ツルの端^{はし}、枝の先にある果実をあきるまで食べることができた。

ツルや大木の枝先の果実をつかみとるかぎのように曲がった手こそ、チンパンジーの長い指の意味だった。ツルを渡るためには、親指は短いほうがいい。

運動場のうんていや鉄棒をしつかりにぎるためには親指が必要だが、ツルをつたうためにはこれでは動けない。横に何本も棒が並んだ運動場のうんていとちがつて、自然のツルはまっすぐに伸びている。これをつたって動くためには、指先をひっかけて、するつとは

ずして、先に進む。

その力ギ型に曲がった指の形を太い枝の上や地面で使うと、ナツクル・ウォーキングだ！

だから、チンパンジーは太いミキだけの木登りは、下手なんだ！ 曲がった指先を使うことができないからだ！

⑩ そして、チンパンジーのとがった大きな犬歯。オレンジやナツミカンのような固い皮をむくとき、人間の手は不便だ。ナイフで切りこみを入れないと、固い皮をむくのはむずかしい。オレンジほどもあるイロンボの果実の皮も、固いものだった。チンパンジーの犬歯は、そのナイフだ。だから果実を食べるサルたちはみな、とがった犬歯を持っている。

チンパンジーの歯と指の形は、その主食となるとくべつなツルの森の果実を食べるための道具だった。そして、その指を使うとナツクル・ウォーキングになる！

⑪ 「百聞は一見にしかず」ということわざがあるけれど、野生の動物の生活は自然の条件の中で見なくては、ほんとうのことはわからない。

（人はなぜ立ったのか？—アイアイが教えてくれた人類の謎— 島泰三）

*注 ナツクル・ウォーキング 手の指の背をつけて歩くこと

問1 — 線①「チンパンジー」と人間の指のちがいが書かれている部分を文中から探し、始めと終わりの五字を書きぬきなさい。ただし、句読点も一字にふくみます。

問2 — 線②「そのためだ」とありますが、何のためですか。文中の言葉を使って答えなさい。

問3 — 線③「なぜ親指がこうまで短いのだろう」とありますが、なぜ短いのですか。次から選びなさい。
ア 樹上性の動物なので、親指は使わず退化したから
イ 他の指が長すぎるので、短いように見えるから
ウ 果実をとるには、親指はまったく必要がないから
エ ツルをわたるには親指がひつかからないほうがよいから

問4 — 線④「木登りが下手なチンパンジー」とありますが、その理由を文中から二十字以内で書きぬきなさい。

問5 — Aに入る語を、次から選びなさい。
ア 注意しながら イ 熱心に
ウ 遊びながら エ 急いで

問10 — 線⑨「空想の世界」とありますが、どのような世界ですか。文中から十字以内で書きぬきなさい。

問11 — X・Y・Zに入る語を、それぞれ次から選びなさい。
ア かるがると イ ゆうゆうと
ウ まざまざと エ ひしひしと

問12 — 線⑩「チンパンジーのとがった大きな犬歯」とありますが、その役割を何にたとえていますか。文中から書きぬきなさい。

問13 — 線⑪「百聞は一見にしかず」とはどういう意味ですか。次から選びなさい。
ア たくさんのことを聞くことは、少しだけ見ることよりも価値がある
イ 百回人から説明してもらえば、一回だけ自分の目でみることよりよくわかる
ウ 他人の話を何度も聞くよりも、一度実際に自分の目で見る方がよくわかる
エ 多くのことを学ぶことは大切であり、自分の目で見て学習することも大切である

問6 — 線⑤「れっきとした」とはどういう意味ですか、次から選びなさい。

ア 歴史的にみても イ 自分が知る限りでは
ウ 周囲から認められた エ 動物学的に分けると

問7 — 線⑥「後ろに手をまわしてツルをにぎっている」のはなぜですか。次から選びなさい。

ア すぐに戦えるようにするため
イ 座りにくさを少しでもごまかすため
ウ 落ち着かない気持ちをまぎらわせるため
エ すぐに木の上に逃げられるようにするため

問8 — 線⑦「あわてて追いかける」の主語は何ですか。文中から書きぬきなさい。

問9 — 線⑧「イロンボ」の特色を、次から選びなさい。
ア 半年間という長い間実る
イ 非常に固い果肉である
ウ 実の直径は三センチである
エ 甘さは世界一である

問14 — 線⑫「ほんとうのこと」とありますが、今回何がわかったのですか。次から選びなさい。

ア チンパンジーは樹上性の動物だが、木登りはできない
イ 歯と指の形は、その動物の主食と深い関係がある
ウ イロンボは多くの類人猿の主食となっていた
エ ナツクル・ウォーキングはオスならではの歩き方である

問15 — 線⑬「ミキ」のカタカナを漢字に直し、①「下手」の読みをひらがなで書きなさい。